

青葉の詩

あおほのうた
発行責任者
菊陽町立菊陽南小学校
校長 渡邊浩文

みなみっ子が福島へ！

スナックゴルフ全国大会出場！

たくさんのご支援ありがとうございます。

前号でもお知らせしましたが、五月に行われた県大会で好成績を収め、この度全国大会に出場することになりました。

七月十六日(日)福島県白川郡西郷村にある「グランディ那須白河ゴルフクラブ」で開催されます。

参加選手団は次の八名です。

- 六年 高木 風花さん
- 五年 中俣 愛里さん

- 鍋島 美桜子さん
- 高木 春花さん
- 鍋島 千慧さん
- 四年 小牧 愛佳さん
- 歩濱 旭さん
- 二年 中俣 麗さん

そして、学校からの引率として西村幸洋教諭と一緒に、福島を訪れることになりました。

ご支援へのお礼

大会を主催する日本ゴルフツアー機構からの費用補助だけでは、なかなか大変なところでしたが、南小校区活性化協議会、区長会のみなさまをはじめ、たくさんの方

係者の方々からご支援をいただきました。物品販売にご協力いただいた方も多く、大変感謝しております。

選手はもとより、小学校教職員、保護者一同、改めて菊陽南小学校の校区のみなさまの優しさ、あたたかさを感じた次第です。本当にありがとうございます。

菊陽南小学校の児童として、熊本県の代表として、ひたむきにプレーしてくれることでしょうか。頑張りをお願いします。

「福島」で開催される意味

福島県はご存知の通り、二〇一一年三月十一日に発生した大地震による東日本大震災で、大きな被害を被った県です。震災全体では、津波や家屋の倒壊などにより、死者・行方不明者数が岩手県・宮城県を中心に二万人近くとなりました。そのうち、福島県では千八百名余りとなっています。しかし、現在も自宅に住めない

戻れない避難者を見ると、東日本大震災の避難者数は約九万三千人。そのうち、半数以上の約五万七千人が福島県の人なのです。

これは、福島県双葉郡大熊町にある福島第一原子力発電所の事故による影響です。地震と津波による電源喪失が原因で、炉心溶融が起こり放射性物質の放出を伴った事故となりました。立ち入り禁止区域が設定され、自宅に帰ることができない人も多数に上ったのです。

現在は厳重な監視の下、昼夜を問わず原子力発電所の廃炉に向け作業が行われ、飛散した放射性物質の除染も進んでいます。

悲しくも残念なことは、「福島」に対する予断と偏見が生まれてしまったこと。例えば、福島県には行くことも、住むこともできない。

福島県産の農作物、水産物は全て放射能に汚染され食べることができない。福島県から避難してきた子どもから放射能がうつる。賠償金を貰っているからお金には不自由していない等々。横浜の小学校で起こった「原発いじめ」はその最たるものだと思います。

私たちは熊本地震を経験しました。被害の大きさは東日本と比較にならないものですが、自然災害の大変さ、怖さは同じです。当たり前の生活が送れないつらさと同じように知りました。そして、た

くさんの人々からの支援で、人のあたたかさや優しさに触れたこと、災害から立ち上がり復旧・復興に

向け力強く歩む姿も同じなのです。昨年の地震を乗り越えた明るく元気な笑顔とプレーは、福島の人

たちにも、熊本の人たちにも、きっと勇気を与えるはず。被災地熊本だからこそ、福島へ行くのです。

みなみっ子がどこまで行くのか!? えっ?そんなとこまで!

全国大会会場
グランディ那須白河ゴルフクラブ

希望の牧場

福島第一原子力発電所



熊本